

令和5年度（2023年度）

管理事業名	文化財保護事業				総合計画 の体系		大綱 7 都市魅力			
							政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり			
							施策 2 文化財の保存と活用			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	10	教育費	(項)	5	社会教育費	(目)	7	文化財保護費
部局名	地域教育部	予算執行 所属		文化財保護課						
事業の目的と概要										
文化財保護事業 埋蔵文化財の発掘調査を実施し、出土した遺物等の整理事業を行い、報告書等の作成を行う。有形文化財等市内に所在する文化財についても調査を行いその成果をまとめて報告書を作成する。また、文化財を保護し保存・活用等を図るため教育委員会で管理する史跡等の管理に努め啓発を行うとともに、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出する。										
・旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）保存活用事業 重要文化財である当住宅を適切に保存し、その価値を生かした活用を図る。										
・旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）保存活用事業 市の指定有形文化財である当住宅を適切に保存し、その価値を生かした活用を図る。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指 標 の 定 義
旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）入館者数	人	96	147	250	施設入館者数及び主催事業の参加者数
旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）入館者数	人	499	1,096	943	施設入館者数及び主催事業の参加者数
開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数	件	107	117	160	開発工事等に伴う埋蔵文化財調査・立会及び文化財調査件数
指定・登録文化財総数	件	73	73	73	国、府及び市の指定・登録文化財総件数

II 活動実績・成果

【成果指標1】旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）入館者数についての評価 ・入館者数250名 ・入館者数の増は、工事現場見学会を実施したこと等による。 【成果指標2】旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）入館者数についての評価 ・入館者数943名 ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり臨時休館することなく開館を継続したこと等により、前年度に比べ大幅に増加した。令和5年度はその令和4年度に比べ微減した。 【成果指標3】開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数についての評価 ・埋蔵文化財の発掘調査や市内に所在する有形文化財等の調査で、開発工事の増加に伴い令和3年度、令和4年度を上回る件数に対応し、文化財の保存に努めた。 ・埋蔵文化財に関する開発事業者からの照会等に対応するため、遺跡地図情報を電子化し、ホームページで公開した。 【成果指標4】指定・登録文化財総数についての評価 ・指定・登録文化財の件数の増減はなし。 ・8件の府指定、市指定及び市登録文化財に対し、文化財保護のための補助金の交付を行い、文化財の適切な保存・活用の取組を行った。 ・文化財保護審議会を開催し、市内所在の文化財の保存活用状況等について報告するとともに、審議会の在り方について整理した。 ・指定・登録文化財の所有者等を対象にアンケート調査を実施し、今後の保存等に必要の支援を検討した。		【財務情報に基づいた評価】 ・旧西尾家住宅について令和2年度以降約10年をかけて大規模修繕を進めていくこととし、令和4年度に建物本体の保存修理工事に着手したが、工事の過程で想定外の不測の事態が発生し、工事に遅れが生じた。そのため、令和4年度分の工事を令和5年度にかけて実施したことから、令和4年度分の工事請負費（前払い金を除く）及び工事監理委託料について、出来高達成後の令和5年度に支払いを行ったため、令和4年度に比べ経常費用のうち維持補修費が大幅に増加し、またそれに伴い経常収入のうちの国庫支出金も増加した。（前払金は令和4年度の支出）
---	--	---

III 課題と今後の取組

文化財保護事業については、埋蔵文化財調査の件数が増加しており、また大半が民間の開発に伴い実施されるため、それに適切に対応できる体制整備が重要である。限られた人員体制の中での対応のため更なる業務プロセスの改善も必要であり、その点からも昨年度に電子化した遺跡地図情報を本市の地図情報システム内で閲覧できるようにする等更なる利便性向上等の充実を図り利用を啓発していく。指定・登録文化財の維持や管理については所有者等の協力が不可欠であり、人材育成を図りながら、調査・啓発とともに支援の在り方を検討していく。	旧西尾家住宅保存活用事業については、全国的にも機会の少ない重要文化財の大規模修理工事であり、想定外の事態の発生やそれに伴う工程・設計の見直しなど、工事の進捗管理が難しい。工事中も可能な範囲で一般公開を行うなど引き続き啓発に努めるとともに、活用に向けた検討を進める必要がある。 旧中西家住宅保存活用事業については、経年劣化に加え耐震性に課題があり、保存活用計画に沿って母屋、長屋門の屋根瓦の葺替え等、耐震補強工事が必要である。両住宅とも、より多くの方に向けての啓発を進め、近隣大学等との連携なども検討していく。
---	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	8,428	10,191	1,763
未収金	-	-	-	地方債	3,908	5,503	1,594
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	4,520	4,689	169
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	936,653	936,653	-	その他流動負債	-	-	-
土地	936,653	936,653	-	固定負債	96,389	136,693	40,304
建物・工作物	0	0	-	地方債	55,623	94,520	38,897
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	40,766	42,173	1,407
無形固定資産	151	151	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	104,817	146,884	42,067
建物・工作物	-	-	-	純資産	848,571	807,785	△40,786
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	16,584	17,865	1,281	純資産の部合計	848,571	807,785	△40,786
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	16,584	17,865	1,281	負債及び純資産の部合計	953,388	954,669	1,281
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	953,388	954,669	1,281				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金（経常費用充当）	73,210	20,175	94,269	74,094
府支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	5,809	387	5,241	4,853
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	46	60	130	70
経常収入 小計 (a)	79,065	20,622	99,640	79,017
給与関係費	81,496	72,530	76,283	3,753
物件費	23,794	38,078	84,945	46,867
維持補修費	112,941	42,742	103,992	61,250
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	994	1,152	2,520	1,368
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,636	4,520	4,689	169
退職手当引当金繰入額	2,848	△2,019	3,581	5,601
支払利息	27	241	460	219
その他	-	-	-	-
経常費用 小計 (b)	226,736	157,244	276,470	119,226
経常収支差額 (a)-(b)=(c)	△147,671	△136,621	△176,830	△40,209
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	23,333	-	-	-
特別収入 小計 (d)	23,333	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計 (e)	-	-	-	-
特別収支差額 (d)-(e)=(f)	23,333	-	-	-
一般財源調整額 (g)	-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)	△124,338	△136,621	△176,830	△40,209
一般財源充当額	121,700	135,363	136,044	681
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△2,638	△1,259	△40,786	△39,528

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	79,065	20,622	99,640	79,017
行政サービス活動支出	228,423	162,989	274,894	111,905
行政サービス活動収支差額	△149,357	△142,367	△175,255	△32,888
投資活動収入	-	-	4,000	4,000
投資活動支出	5,644	403	5,281	4,878
投資活動収支差額	△5,644	△403	△1,281	△878
財務活動収入	34,900	9,200	44,400	35,200
財務活動支出	1,599	1,793	3,908	2,115
財務活動収支差額	33,301	7,407	40,492	33,085
収支差額 合計	△121,700	△135,363	△136,044	△681
一般財源充当額	121,700	135,363	136,044	681
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 基金	旧西尾家住宅大規模修繕基金への積立の増
【BS】 固定負債 地方債	旧西尾家住宅保存修理工事の補助対象経費の増による文化財保存事業債の増
【PL】 国庫支出金 （経常費用充当）	旧西尾家住宅保存修理工事の令和4年度分の一部を令和5年度に繰り越して実施したことによる補助対象経費の増による国庫支出金の増
【PL】 維持補修費	主に、旧西尾家住宅保存修理工事の令和4年度分の一部を令和5年度に繰り越して実施したことによる維持補修費の増
【PL】 負担金・補助金・交付金等	吹田市文化財保存事業補助金申請団体の増による交付額の増

単位当たりのコスト分析（「経常費用 小計(b)」÷「実績」）

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者1人	コスト 381,069 円	126,503 円	231,743 円
	実績 595 人	1,243 人	1,193 人
	コスト 円	円	円
	実績 円	円	円

入館者数は、旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）は工事見学会の実施により増加したが、旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）はやや減少し、両館の合計で令和4年度をやや下回ったことに加え、旧西尾家住宅修理工事により経常経費が増加したため、単位当たりコストが増加した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	62,551	3,897	6.99
会計年度任用等	21,951		
特別職非常勤	50		
合計	84,553		

分析指標

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		1026738436.4	388563181.8	945382136.4	556818954.6
経常費用対公共資産比率		2061235890.9	1429487709.1	2513361945.5	1083874236.4
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		51.6	81.9	47.9	△ 34.0